



県大の祭典「白楊祭」開催！

県立広島大学庄原キャンパス大学祭「白楊祭」・10/26～27

No.1

県立広島大学庄原キャンパスで2日間、大学祭「第35回丘の上の白楊祭」が開催されました。

メインステージでは、軽音楽部によるライブやダンス部によるパフォーマンス、ピンゴ大会などが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。

26日には、市が県大生を対象としたジビエ料理の無料提供ブースと「庄原ファンクラブ」の加入者を対象としたくじ引きのイベントブースを設置し、多くの学生たちの興味を引いていました。

また同日、「広島農業短期大学開学70周年・広島

県立大学開学35周年記念事業」として式典や講演会が開催され、県立広島大学庄原キャンパスの前身である広島農業短期大学および広島県立大学の卒業生も多数庄原キャンパスを訪れました。

白楊祭実行委員長で同大学2年生の古田悠樹さんは「この白楊祭を多くの人が笑顔で楽しんでくれる姿を目にすることができました。実行委員長としての経験は、自分にとっても大きな成長の糧となりました」と話しました。



▲会場の様子



▲ジビエ料理に長蛇の列！

育てた大根を道の駅で販売

高野小児童が販売体験・11/14

No.3

道の駅たかのので、高野小4年生の児童11人が高野大根の販売体験を行いました。

販売した大根は総合的な学習の時間の一環として栽培されたもので、8月末から同小学校裏の畑で児童が育ててきた「冬じまん」という品種です。販売2日前に収穫した約600本が店頭並びました。

児童は「おいしい高野大根ですよ」「ありがとうございました」と大きな声を出して、元気いっぱいに販売。早朝から多くの人が道の駅を訪れ、立派に育った大根を次々と買い求めていました。

販売を体験した児童は「自分たちの育てた大根をたくさんの人たちが買ってくれてうれしかった」と話しました。



▲大根を販売する児童

口和の秋を盛り上げる

第14回口和健康ふくし祭 わいわいフェスタ・10/20

No.2

口和地域で“くらす幸せ ちいきの笑顔 わたしの健康”をテーマに「第14回口和健康ふくし祭 わいわいフェスタ」が5年ぶりに開催され、約700人が来場しました。

ステージイベントでは、シルバーリハビリ体操の実演や口和町の戸山会による神楽公演が行われたほか、健康啓発器具がずらりと並び健康コーナー、自転車発電機を30秒間こいで発電量を競う「発電Myチャレンジ」、町内団体によるさまざまなブース出店が行われ、会場は多くの人でにぎわいました。

発電Myチャレンジに挑戦した来場者は「久しぶりに自転車に乗って、ペダルが重く感じ運動不足を痛感したが、またチャレンジしたい」と笑顔で話しました。



▲発電Myチャレンジに挑戦する来場者

思い思いのヒバゴンが集合！

2024 やほこフェスタ・11/4

No.7

八銚自治振興センターで、「2024 やほこフェスタ」が開催され、約600人が来場しました。会場では、新米のすくい取りや地元野菜販売、マルシェ、キッチンカーも勢揃い。また、バンド演奏やカラオケ、生涯学習作品、鉄道コレクション・ジオラマ展示コーナーが、来場したファンを楽しませました。

さらに、初開催の「ヒバゴン仮装コンテスト」には県内外から9組の参加があり、会場内を大いに盛り上げていました。

八銚自治振興区の織田みね子会長は「初の試みとしてヒバゴン仮装コンテストを開催しました。多くの人たちの結集により爽やかな秋晴れの下、素晴らしい祭典となりました」と喜びを話しました。



▲ヒバゴン仮装コンテスト



▲ジオラマの展示

映画で人生を見つめ直す

総領で映画上映会・11/3

No.9

総領自治振興センターで総領自治振興区が主催する映画上映会が開催され、70人の定員が満席となりました。

これは総領自治振興区の生涯学習部が毎年開催している行事で、今回は吉永小百合・大海祐希主演の映画「最高の人生の見つけ方」を上映しました。

これは、余命宣告を受けた主婦と女社長が偶然病院で出会い、入院中の少女が書いた「死ぬまでにやりたい事リスト」を2人で代わりに実行することで人生を見つめ直すという内容です。

上映会に参加した人は「2人が残された時間で人生を見つめ直す映画でした。話の展開と映像にとっても感動しました」と話しました。



▲上映開始直前の会場

韋駄天のように駆け抜ける

中学校駅伝競走大会・10/12

No.8

道後山高原クロカンパークで「男子第65回・女子第43回庄原市中学校駅伝競走大会」が開催され、市内中学校の中から、男子8チーム、女子6チームが出場しました。

秋空の下、応援しているチームの仲間からは「がんばれ！」「負けるな！」と熱い言葉が飛び交い、各校仲間の思いを乗せたタスキを繋ぎ、どのチームも一丸となって最後まで走りきりました。

この大会は、中国中学校駅伝競走大会予選会も兼ねており、女子は庄原中、口和中が、男子は庄原中、東城中が代表校に選出。11月17日に行われた中国中学校駅伝競走大会でも、東広島の地で、庄原の代表校として堂々と走りました。



▲男子の部のスタート

比和の秋を満喫

第29回比和やまびこ祭・10/20

No.4

比和総合運動公園で、第29回比和やまびこ祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

当日は好天の下、町内外からのランナーが多く参加するロードレースをはじめ、比和小児童による合唱や鼓笛演奏、比和中生徒による比和牛供養田植、元トライアル全日本チャンピオンの成田匠さん率いるバイクチームによるトライアルスーパーデモなどが行われました。また、比婆牛のサイコロステーキのほか、米や野菜、漬物など比和町の特産品販売も盛況でした。

荻野まどかさんによるスペシャルショーでは、華やかな着物と歌声に観客が魅了されました。

実行委員長の若林隆志さんは「今年も多くの人たちが来場し、比和町の魅力を発信できた。」と話しました。



▲比和小児童による鼓笛演奏



▲ロードレース



▲トライアルスーパーデモ

“もみじ”より“だんご”!?

第17回帝釈もみじまつり・11/4

No.6

紅葉の色づきはじめて帝釈自治振興センターで、第17回帝釈もみじまつりが開催され、県内外から大勢の人が来場しました。

ステージ「楽の広場」では、新見ウインドアンサンブルの楽しい楽曲からスタートし、歌謡ショーや神石踊娘隊きらきら星によるよさこいダンス、じゃんけん大会などで盛り上がりしました。

屋台「食の広場」では、松茸うどんや新そば、アマゴの塩焼き、さつま芋の天ぷら、ジビエの串焼き、キーマカレーなど、地元住民の心づくしの料理が振る舞われました。

来場者は「食べ物もおいしく、とてもにぎやかで、楽しく過ごすことができた」と話しました。



▲じゃんけん大会を楽しむ参加者

備後庄原駅に興味津々

庄原小児童が備後庄原駅を見学・11/5

No.5

JR 備後庄原駅で、庄原小2年生の児童49人が駅舎内やホームの見学を行いました。

当日は晴天に恵まれ、子どもたちは、備後庄原駅で乗車券の販売などを行う林智雄さんの案内のもと、線路上をまたぐ陸橋や、普段は使用しない駅の構内にある踏切を渡ってホームを移動しながら、駅の内外を見て回りました。

林さんやJRの職員から、鉄道設備や駅での業務についての説明を聞いたり、列車がホームに到着する様子や、カーブ選手のオブジェを見たりしました。

児童は興味津々に「列車の最高速度は何キロですか」「運転手は何人いますか」と質問をしていました。



▲駅を見学する児童